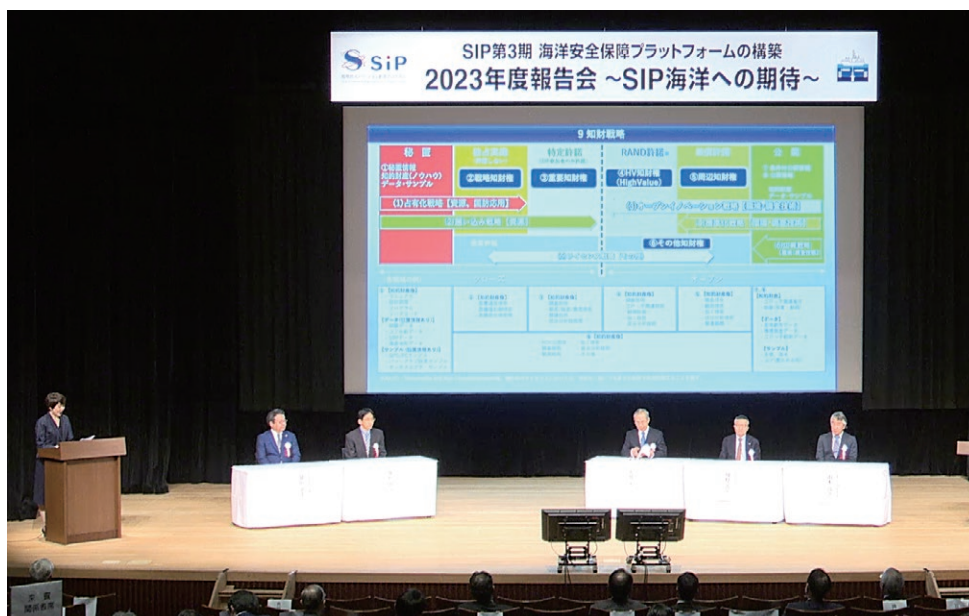


News Letter



2023年度報告会 開催

2023年12月8日(金)、SIP第3期「海洋安全保障プラットフォームの構築」(以下、SIP3海洋)2023年度報告会がイノホールにて開催されました。報告会は、会場参加208名、オンライン参加618名、合計826名と多くの参加者を得て、盛況のうちに開催されました。

冒頭のオープニングセッションでは、自由民主党 宇宙・海洋開発特別委員会 海洋総合戦略小委員会 事務局長の黄川田仁志 衆議院議員より、SIP海洋にはこれまで以上の大きな成果を挙げてもらふことを期待している旨ご祝辞を頂きました。また、新藤義孝 経済再生担当大臣からの祝電紹介に続いて、内閣府 総合海洋政策推進事務局長の宮澤康一様、次に一般社団法人日本経済団体連合会 海洋開発推進委員会 委員長の満岡次郎様より、海洋産業の活性化・事業化・制度整備を踏まえ、これまでの研究開発の成果が社会実装されることに対する大きな期待を含めてご祝辞をいただきました。また、SIP主催者側を代表して須藤亮 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局政策参与・SIPプログラム統括とSIP3 海洋 研究推進法人の海洋研究開発機構を

代表し大和 裕幸 理事長より挨拶を頂きました。



黄川田 仁志 様



宮澤 康一 様



満岡 次郎 様



須藤統括



大和理事長

本報告会は、本年4月1日からSIP第3期が始まったことを踏まえ、「海洋課題の5ヶ年計画と概要」と「パネルディスカッション～SIP海洋成果の活用について～」という二部構成で行われました。第一部では、石井正一PDからSIP3海洋の全体概要と今後の5年計画について紹介がされ、それぞれのテーマについて、川村善久テーマリーダー（以下、TL）からは「レアアース生産技術開発」について、山本啓之 TLからは「海洋環境影響評価システム開発」について、藤原敏文 TLからは「海洋ロボティクス調査技術開発」について、最後に稲垣史生 TLから「海洋玄武岩 CCS基礎調査研究」についてのプレゼンテーションがなされました。

第一部終了後の休憩時間を利用したポスターセッションでは、SIP事業の概要と各テーマの内容を紹介したパネル、COEDO Petiteの実機、コアサンプルやレアアース泥の展示に加えNGR6000（現しんりゅう 6000）の実物大のパネルも展示され、多くの参加者に興味深く見ていただきました。

休憩時間後の第二部パネルディスカッションでは、産官学の各界より6名のパネリストの方々に、SIP3海洋に対する今後の期待について話を頂きました。最初に、松山泰浩 経済産業省 資源エネルギー庁 次長からは、経済性のある生産技術の開発による事業化と制度整備を同時並行的に進めていくことの重要性が語られ、堀上勝 環境省 自然環境局 大臣官房審議官からは、海中ロボット技術を用いた観測機器のネットワークによる新たな海洋環境モニタリングに非常に期待している旨のご発言がありました。また、宮澤康一 内閣府 総合海洋政策推進事務局長からは、2030年までに国内でAUV産業が育成されるよう官民連携でAUVの開発・利用を促進すべく「我が国のAUV戦略」の作成と、また南鳥島の活用に向けSIP3海洋の活動をサポートしたい旨のご発言がありました。藤田雅之 海上保安庁 海洋情報部長からは、海洋情報部の紹介とともに、海洋ロボティクスの新たな技術への関心およびSIP3海洋観測データについての「海しる」との連携活用への期待が示されました。窪川かおる 帝京大学 先端総合研究機構 客員教授からは、深海域だけでなく浅海域での環境モニタリングも重要であり、とりわけ小型安価なAUV開発に期待している旨のご発言がありました。また、青山伸昭 一般社団法人 海洋産業研究・振興協会副会長 代表理事・運営委員長からは、洋上風力発電や海底送電ケーブルの保守管理に活用できるよう水深300m海域で使えるAUV技術がいち早く開発されることへの強い期待が語られました。石井PDから、これら貴重なご助言やご期待をSIP3海洋の研究計画の中に反映させ、出口目標を達成すべく頑張っ行ってきたい旨返答し、パネルディスカッションは終了しました。

報告会終了後の意見交換会は、130名近くの方が参加され、引き続き黄川田議員にご出席いただくとともに、自由民主党 政務調査会副会長の赤池誠章 参議院議員にもご来駕いただきました。参加者の間では活発な意見交換が行われ盛況の内に終了しました。



(上)第一部 海洋課題の5ヶ年計画と概要
(下)ポスターセッション



第二部 パネルディスカッション
(左上から)
松山次長、堀上審議官、宮澤事務局長、
藤田部長、窪川教授、青山副会長、石井PD



(中央)赤池誠章様

